

# 医学博士のメデイカル・コラム 病気が教えてくれるもの

## 第34回 心が何故大切か？

突然、医師から重大な病気を告げられる。心は動揺し、現実を受け止められず、悲観的な思いが心を占拠する。脈は速まり、血圧は上昇し、焦る気持ちで夜も眠れず…。重大な病気そのものによる症状はほとんどないのに、不安や恐怖からくる身体への影響によって、一層苦しむことになる。

ある日、職場での人間関係でとても不快な出来事が起こる。そのことがいつまでも心に引っ掛かって、そのうち胃が痛くなり、食事が喉を通らなくなってくる。このようなことは、夫婦関係でも、嫁姑関係でも、親子関係でも、学校での友人関係でも、近所付き合いにおいても、様々なところで日常茶飯に繰り返されている。

今、現実には、目の前に展開している問題こそが、避けて通ることが出来ない、皆さん自身の「人生における解決すべき課題」であると思う。この解決に向けての物の考え方や見方、判断を間違えると、心に闇が

発生する。この闇をどれだけ深く、どれだけ長く抱えていくかということが、次に発症する病気の性質を決めることになる。皆さんが思っている以上に、心と身体は密接にリンクしているのだ。

現代の医学は、心と身体の関係性について十分に解明しきれていない点で極めて未熟である。肉体的な治療としての薬や手術が一定の効果をもたらすことは疑う余地はないが、病気を生み出し、病気を治す真なる主役は、間違いなく『心』である。人は誰でも、肉体は老い、いつかはこの世を去る定めがある。けれど、歳を重ねても、心がどれだけ透明で、豊かであるかを尺度として生きたならば、この世に生まれ、様々な経験をすることの意味を知ることが出来るのではないだろうか。

### 医学博士 木村謙介

北海道大学医学部卒。慶應義塾大学医学部循環器内科専任講師などを歴任。  
米カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部留学、最先端の基礎医学と豊富な臨床経験を持つ。「大きな病気を発症する前にその芽を摘み取る方が医療レベルは高いはず」の信念で2012年、きむら内科クリニックを開設。



医療法人

きむら内科クリニック TEL 044(981)6617

麻生区片平5-24-15 きむら内科クリニック 麻生区 検索